

# 会 報

令和 3 年 3 月 31 日 発行

## オリンピック・パラリンピックと学会

真山達志（同志社大学）

オリンピック・イヤーのはずであった 2020 年は、新型コロナウイルスへの対応に明け暮れた。東京オリンピック・パラリンピック（以下、オリパラと略す）も 1 年の延期を決めざるを得なくなった。しかし、年が改まってもコロナ禍は収まるどころか、感染者数が激増するなど深刻度を増してしまった。そのため、東京オリンピック・パラリンピックが本当に実施可能なのか、実施すべきなのかの議論が再燃している。

2021 年 1 月 15 日付けのニューヨーク・タイムズ（電子版）は、「東京オリンピック開催の望みは薄くなった」という見出しで、開催中止の可能性があると報じた。また、共同通信社が 1 月 9、10 日に実施した全国電話世論調査によると、今年夏の開催について「中止すべきだ」が 35.3%、「再延期すべきだ」が 44.8%であった。両者を合わせると、80.1%が今夏の実施の見直しを求めていることになる。

一方、オリパラの選手村村長の川淵三郎氏は、昨年 12 月であるが、共同通信のインタビューに対して、大会で徹底した感染対策を成功させれば、世界に対して先例を示すことができることから、むしろ開催する価値は上がっているとの見解を示している。また、菅首相は、2021 年 1 月 21 日の通常国会代表質問に対して、感染症対策をしっかりと行うことで、ワクチンを前提としなくとも安全、安心な大会を開催できるよう準備を進めると答弁し、開催に意欲を示した。

コロナ禍の下で、オリパラ開催の可否を真剣に検討することになったため、様々な利害や思惑が錯綜して、論点が拡散しているようだ。しかし、そもそもオリパラとは何か、開催都市を中心に社会・経済にどのような影響を与えるのか、アスリートは元よりスポーツ界にどのような意味があるのか、オリパラと政治やカネとの関係等々を、改めて議論する機会が生まれたと、前向きにとらえていた。勢いと成り行きだけでオリパラを開催するよりは、ある意味で良かったのではないかとさえ考えていた。ところが、2021 年 1 月 20 日付け毎日新聞（電子版）に掲載された松井一郎氏（大阪市長）の次のコメントを見て、少し

悩ましい気分になった。

松井氏は、「最悪なのは（五輪を）中止することだ。24年に予定しているパリも準備が非常に厳しくなっていると思うので、4年ずつ後ろ倒しにすべきだ」との持論を開陳し、25年に大阪・関西万博が控えていることに触れ、「コロナ後の経済復活を目標とし、楽しみが先延ばしになったと捉えればいいんじゃないか」と述べたのである。

オリパラも万博もメガイベントだから、景気が良くなって楽しければいいじゃないか、というのは分かり易い話である。そういう考えの人も多いだろう。しかし、一国の国政政党の代表にして政令市の市長である政治家から、オリパラに関して公式の場でこのような発言が出る現状に鑑みると、スポーツ政策を研究する学会として、スポーツとスポーツイベントに関して社会に対する情報発信や問題提起が不足しているのではないかという問題意識が改めて湧いてきた。

### 《大会報告（30回大会）》

#### 日本体育・スポーツ政策学会 第30回大会報告

実行委員長 内藤正和（愛知学院大学）

日本体育・スポーツ政策学会第30回学会大会を、2020年11月29日（土）に開催致しました。コロナウイルス感染拡大のため、本学会初のオンライン開催となりました。

第30回学会大会は、テーマを「公共政策としてのスポーツ政策-政策過程の検討-」とし、新型コロナウイルス感染症の流行により、東京オリンピック・パラリンピック競技大会をはじめとする各スポーツイベントの延期、プロスポーツの中断など、スポーツ事業の中止や延期が余儀なくされている一方で、アスリートやスポーツチームによる動画配信、寄付などの支援が行われており、スポーツの社会に対する価値や影響の大きさが再認識されるようになりました。このような状況を踏まえ、スポーツは社会に何を残せるのか、そしてそれらを活かすどう公共政策として成立させるのか、政策過程を視点に公共政策としてのスポーツ政策について議論する機会と設定致しました。

基調講演では、名古屋都市センター長、国土審議会会長であります奥野信宏先生に「スポーツと地域・国土づくり～市民と民間が公共を担う～」というテーマでご講演いただきました。主に国土政策の視点から、スポーツが人と人のつながりをつくる手段として有効である点をご指摘され、地域のスポーツクラブがソーシャルビジネスとして成立する可能性について言及されました。こうしたスポーツへの期待を受け、その後の質疑応答では活発な議論が展開されました。公共政策としてのスポーツを検討する上で貴重な機会となりました。

一般研究発表では、オンラインであっても活発な議論を促すため、本学会大会としては初の指定討論者による議論を採用しました。発表者による概要報告の後、指定討論者から論点整理や質疑、意見等をご発表いただき、それに対して発表者の応答がなされました。これにより、通常の学会大会と遜色ない議論が各発表にて展開され、本学会大会の今後の発展に寄与できたと考えております。ただ、研究発表数が8題と少なかったことは、大会の課題として挙げられます。

最後になりましたが、第30回学会大会の準

備、開催にご尽力賜りました日本体育・スポーツ政策学会、第 30 回学会大会実行委員会をはじめとすご関係の皆さまに感謝申し上げ、第 30 回学会大会の報告とさせていただきます。

### 《大会参加報告》

#### 学会大会を終えて

石原康平（中京大学大学院）

日本体育・スポーツ政策学会第 30 回大会にて発表させていただきました、中京大学体育学研究科の石原と申します。本学会大会には発表も参加も初めてであり、非常に緊張しておりました。

私は「オーストラリアにおけるスポーツのインテグリティ関連政策・政策の成立過程と特徴の検討」という題目で発表させていただきました。この発表では、先進的とされるオーストラリアのインテグリティ政策を検討し、日本のインテグリティ政策への示唆を得ようと試みました。オンラインでの開催ということもあり、不安は大きかったのですが、発表を聞いてくださった先生方から多くの貴重なご教示をいただけたことにより、今後の研究へのモチベーションが高まりました。

特に、菊先生から頂いた「インテグリティの対立概念であるインテマシーについても注意しなければならない」というご指摘は、これまで私が視野に入れることができていなかった点であり、今後の研究に活かしていきたいと考えています。ここに改めて感謝申し上げます。

また、本学会大会には運営のお手伝いとしても参加させていただきました。オンラインでの学会開催でしたが、スムーズな運営は、何日もかけて準備してくださった運営委員の先生方のご尽力なくして不可能だと感じました。実際に

お手伝いをさせていただき、先生方の運営を目の前で見ることができたのは、今後、教育・研究機関等に勤めたいと思う私にとって大きな財産になりました。

最後に、本学会大会に参加させていただいて、私のスポーツ観が広がったように感じました。発表を聞いてくださった先生方、学会大会の準備・運営をして頂きました先生方に、改めて厚く御礼申し上げます。

#### 自治体のスポーツ政策形成過程研究に かける思い

岡村誠（東海学園大学）

日本体育・スポーツ政策学会第 30 回大会に参加させて頂きました東海学園大学経営学部の岡村誠と申します。私は研究者を志す以前、10 年間ほど地元の新潟県庁に行政職員として勤務し、そのうち 4 年間をスポーツ推進部門で過ごしました。しかしながら行政運営に従事する中で、自治体では、政策が必ずしも民主的あるいは合理的に形成されていない実情を目の当たりにし、そのことがきっかけで、自治体のスポーツ政策形成過程に対して強い問題意識を持つに至りました。

このように、今大会のテーマである政策過程については行政職員時代から大きな関心を寄せていたこともあって、この度の学会大会では「市町村におけるスポーツ政策形成過程のリアリティ—スポーツ政策共創の実践に向けて—」と題して、研究発表をさせていただきました。本学会での研究発表は初めてであり、また、慣れないオンラインということもあって、自分の研究内容をしっかりと伝えることができるのかという不安がありました。おかげさまで当日は、学会員の皆様から建設的なご意見をいただくこ

とができました。中でも、指定討論者である吉田勝光先生には、これまでのスポーツ政策研究の知見や地方スポーツ推進計画の審議（審議会会長）に従事された経験などを踏まえ、スポーツ政策形成過程の分析・考察の視点などに関して丁寧にご指導をいただくとともに、行政職員出身の研究者の先輩として、私自身のスポーツ政策研究者としての将来ビジョンについても貴重な示唆をいただきました。このような経験を糧とし、今後、スポーツ行政における理想的な政策過程の実現に向けて、自身の研究の精緻化

に邁進していくとともに、本学会の発展に貢献できる研究者になれるよう、日々、研鑽を積んでいきたいと思っておりますので、会員の皆様におかれましては、引き続きご指導をよろしく申し上げます。

最後になりますが、指定討論者の吉田勝光先生、本学会大会の準備・運営をしてくださった関係者の皆様、そして研究指導教員の中西純司先生に対し、この場を借りて深く感謝申し上げます。



日本体育・スポーツ政策学会  
関西セミナー報告

関西セミナー担当理事 黒澤寛己

関西セミナーについては、ビデオ会議アプリ (zoom) を使用して開催した。

各回において、体育・スポーツ政策に携わっている実務者を招き、多様なテーマについて講演を依頼している。講演後は、講師と参加者による積極的な議論を行い、日本における体育・スポーツ政策の新たな展開について、学際的な視点で検討している。

ビデオ会議アプリ (zoom) を使用することにより、毎回の学会員参加が増えてきており、今後も、このような方法を活用し学会員にとって有意義なセミナーを開催したいと考えている。

記

日時 2020年11月21日 (土曜日)

テーマ コロナ禍におけるスポーツ活動—大学スポーツを視点に—

講師 中嶋大輔氏 (京都外国語大学准教授・バレーボール部顧問・近畿バレーボール連盟常任理事)

肥田一信氏 (セーバー技研株式会社 Utility 本部ジェネラルマネージャー、同志社大学体育会ラクロス部監督)

方法 ビデオ会議アプリ (zoom) によるオンラインでの開催

日時 2021年2月13日 (土曜日)

テーマ スポーツ事故の補償制度—重篤事故のコストを誰が負担すべきか—

講師 川井圭司氏 (同志社大学政策学部教授)

中村周平 氏 (同志社大学大学院総合  
政策科学研究科博士課程)

方 法 ビデオ会議アプリ (zoom) によるオン  
ラインでの開催

以上

### 第 31 回学会大会案内

第 31 回学会大会は、2021 年 11 月 27 日 (土)・  
28 日 (日) に「鹿屋体育大学」を会場 (Zoom  
オンライン) としての開催を予定しております。  
学会員の皆様におかれましては、ぜひご参会下  
さいますようお願い申し上げます。

#### 《2020 年度理事会報告》

<2020 年度・第 1 回理事会>

日時: 2020 年 8 月 20 日 (木) 10:00~12:  
00 ※Zoom オンライン会議

##### 【審議事項】

- (1) 2019 年度第 7 回理事会議事録 (案) の  
確認について
- (2) 新入会・退会者の承認、会員数の報告に  
ついて
- (3) 第 29 回大会決算報告 (案) について
- (4) 2020 年度学会大会について
- (5) 「体育・スポーツ政策研究」投稿規程の改  
正について
- (6) 学会ホームページの管理について
- (7) その他

##### 【報告事項】

- (1) 2020 横浜スポーツ学術会議について
- (2) 研究誌発行について
- (3) 出版企画について
- (4) 学会賞及び奨励賞について
- (5) 学会ホームページについて
- (6) 会報について
- (7) 関連団体の情報連絡等について

- (8) セミナーについて
- (9) その他

<2020 年度・第 2 回理事会>

日時: 2020 年 10 月 11 日 (日) 10:00~12:  
00 ※Zoom オンライン会議

##### 【審議事項】

- (1) 2020 年度第 1 回理事会議事録 (案) の  
確認について
- (2) 学術連合による日学総会決議文支持声明  
文の公表について
- (3) 2019 年度収支決算 (案)
- (4) 2020 年度総会資料について
- (5) 2020 年度学会大会について
- (6) 学会賞及び奨励賞について
- (7) 学会ホームページの外部委託について
- (8) 名誉会員の推薦に関する内規 (案)
- (9) 新入会・退会者の承認、会員数の報告に  
ついて
- (10) その他

##### 【報告事項】

- (1) 2020 横浜スポーツ学術会議について
- (2) 研究誌発行について
- (3) 会報について
- (4) 学会出版企画について
- (5) 学会ホームページについて
- (6) 関連団体の情報連絡等について
- (7) セミナーについて
- (8) その他

<2020 年度・第 3 回理事会>

日時: 2020 年 11 月 29 日 (日) 12:00~12:  
45 ※オンライン会議 (Zoom)

##### 【審議事項】

- (1) 2020 年度第 2 回理事会議事録 (案) の  
確認について
- (2) 2021-2022 年度 会長選挙結果について

- (3) 2021-2022 年度 学会役員 (案) について
- (4) 2021 年度第 31 回学会大会 (案) について
- (5) 新入会・退会者の承認、会員数の報告について
- (6) 2019 年度決算 (修正案) について
- (7) 2020 年度総会について
- (8) その他

**【報告事項】**

- (1) 研究誌発行について
- (2) 会報について
- (3) 学会出版企画について
- (4) 学会ホームページについて
- (5) 関連団体の情報連絡等について
- (6) セミナーについて
- (7) その他

**<2020 年度・第 4 回理事会>**

日時: 2021 年 3 月 23 日 (火) 10:00~11:30

※オンライン会議 (Zoom)

**【審議事項】**

- (1) 2020 年度第 3 回理事会議事録 (案) の確認について
- (2) 2020 年度総会議事録 (案) の確認について
- (3) 第 30 回大会決算報告 (案) について
- (4) 2021 年度学会大会について
- (5) 日本学術会議問題に関する対応について
- (6) 「体育・スポーツ界におけるジェンダー平等宣言」に関する対応について
- (7) 国立国会図書館インターネット資料収集保存事業に関する対応について
- (8) 新入会・退会者の承認について
- (9) その他

**【報告事項】**

- (1) 研究誌発行について
- (2) 会報について

- (3) 学会出版企画について
- (4) 学会ホームページについて
- (5) 関連団体の情報連絡等について
- (6) セミナーについて
- (7) その他

**《学会誌の原稿募集について》**

学会誌「体育・スポーツ政策研究」の原稿を募集しております。投稿規定をご確認の上、編集委員会事務局へ、word ファイル形式の原稿をメール添付にてご送付ください。

「体育・スポーツ政策研究」編集委員会事務局  
Email [jsppes.edit@gmail.com](mailto:jsppes.edit@gmail.com)

北海道教育大学岩見沢校 武田丈太郎研究室

**《2020 年度新入会員》**

**〔正会員：一般〕**

趙 倩穎 (日本体育大学 スポーツマネジメント学部)

行實鉄平 (久留米大学人間健康学部スポーツ医科学科)

永田秀隆 (仙台大学)

柳澤 修 (上武大学)

來田享子 (中京大学)

末永祐介 (東京女子体育大学)

大橋寛治 (公益財団法人滋賀県スポーツ協会)

**〔正会員：学生〕**

近藤沙耶 (桐蔭横浜大学大学院スポーツ科学研究科)

山内朋也 (東京学芸大学大学院博士課程)

青山将己 (神戸大学大学院人間発達環境学研究科)

石原康平 (中京大学体育学研究科博士課程)

小川 港 (同志社大学大学院)

陳 奕璋 (筑波大学人間総合科学学術院)

阿部拓真 (早稲田大学大学院)

(敬称略、所属等はいずれも当時)

《会員数》

2021年3月23日現在の会員総数は、233名です。入会を希望する方がございましたら、入会申し込み案内をお送りいたしますので、事務局までご連絡ください。

《事務局便り》

◇住所変更などはお早めに事務局へ

ご異動等によるご住所・所属・連絡先等の変更がある方は、FAX等にて至急事務局までご連絡ください。

◇年度会費お支払いのお願い

令和2年度会費、前年度までの未納会費のお振込みをお願いいたします。

口座名：日本体育・スポーツ政策学会事務局  
郵便口座 No. : 00130-4-561426

◇学会誌のバックナンバーについて

学会誌「体育・スポーツ政策研究」のバックナンバーを1部2千円にて配布しております。ご希望の方は、事務局までご連絡ください。

◇学会ホームページについて

下記 URL でホームページが開設されています。

<http://www.jspes.org>

◇事務局が移転します

令和3年4月1日より事務局が下記の住所に移転しました。

〒520-0503

滋賀県大津市北比良 1204

びわこ成蹊スポーツ大学 黒澤寛己 研究室

Email [sportseisaku@gmail.com](mailto:sportseisaku@gmail.com)

日本体育・スポーツ政策学会 会報第30号

発行日：令和3年3月31日

発行人：日本体育・スポーツ政策学会

会長 横山勝彦

編集：理事会広報担当 井上洋一

運営委員 沖村多賀典

事務局：〒276-0013

千葉県八千代市保品 2014

東京成徳大学 出雲輝彦 研究室

TEL 047-488-7111

FAX 047-488-7204

Email [sportseisaku@gmail.com](mailto:sportseisaku@gmail.com)